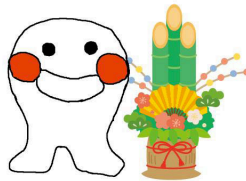


あしたの丘通信

令和7年1月発行
第88号



- P2 あしたの丘まつり
- P3 クリスマス会・生活介護Bたより
- P4 連載企画
のぞいてみよう わたしの丘 他



編集発行 社会福祉法人新生会 あしたの丘
名古屋市天白区八幡山746-1
TEL 052-836-6001
URL <https://www.hospy.or.jp/ashita>



謹んで新年のご挨拶を申し上げます

新年あけましておめでとございます。新しい年を迎えるにあたり、利用者の皆様、ご家族様、関係者の皆様からのご支援、ご協力に心より御礼申し上げます。

昨年より元日に発生した能登半島地震より一年が過ぎました。被災地の一日も早い復興と被災された皆様の生活が一日も早く平穏に復することを祈り申し上げます。この地域においても、昨年

八月には、「南海トラフ地震臨時情報」(巨大地震注意)が発表されました。いつ、どこで大規模地震が起きてもおかしくない状況であることを再認識するとともに、地震への備えに対する決意をあらたにしました。一方、パリオリンピック・パラリンピックでは、日本チームの活躍が大きく報じられるなど明るいニュースもありました。

さて、あしたの丘の昨年を振り返ります。最近では、外出や行事等はコロナ前の日常を取り戻しつつあります。秋のあしたの丘まつりでは、ご家族様や演奏ボランティアさんをお招きして楽しい時間を過ごさせていただきました。クリスマス会は、残念ながら、感染症の拡大防止に配慮した利用者の皆様、職員での二部制開催となりましたが、大いに楽しい時間を過ごしました。今年度以降についても、感染拡大期には、必要な対策をとりながら利用者の皆様、ご家族様に楽しんでいただけるようにメリハリをつけて対応していきます。

四月にはあしたの丘は開設より三十年を迎えます。近年は経年劣化の目立つ設備の更新を中心として取り組んできました。今年度から来年度は、防災備品倉庫の設置、外壁タイルの補修、脱衣所の改修、居住フロアの洗面スペースの改修等を予定しています。引き続き快適な環境の整備に努めますので、ご理解、ご協力の程よろしくお願い致します。

今年の干支は、「乙巳(きのとみ)」です。「巳(みへび)」には、ネガティブなイメージもありますが、古来より豊穣や金運を司る神様として祀られることもあり、神聖な生き物として認識されてきました。蛇には強い生命力があり、脱皮し強く成長する姿から、「再生と変化」のシンボルともいわれます。その生命力から不老長寿を象徴や神の使いとして信仰されてきました。そのため、「乙巳」の年は、再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年になるといわれています。

今年、開設三十年の節目の年です。ご縁のあった皆様が積み重ねてきたものを大切にしながら、巳年に象徴されるように、再生や変化を繰り返しながら新たな段階へ進める年にならぬと思っております。皆様にとつて明るく笑顔に満ちた年であることを願ひまして、新年のご挨拶といたします。良い年でありますように！

令和七年 元旦

施設長 小塚 真由美

あしたの丘まつり

10月6日(日)にあしたの丘まつりを開催しました。

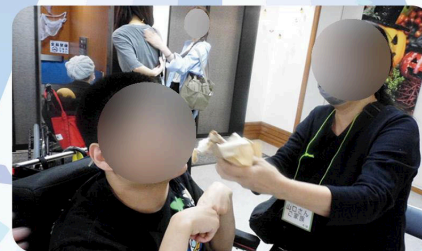
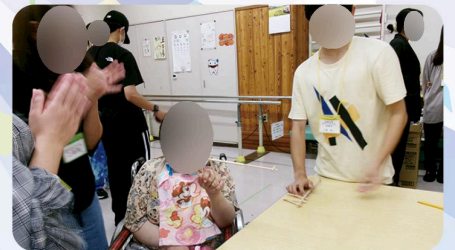
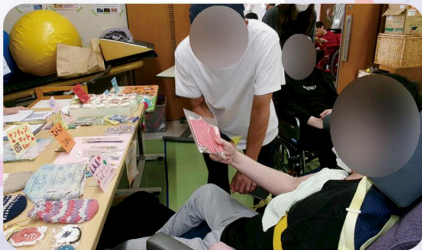
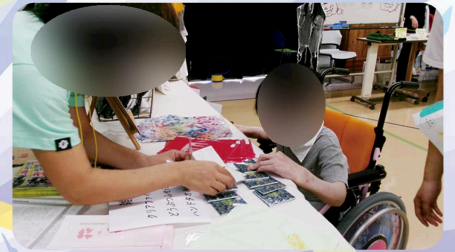
今年はクレープ屋さんがキッチンカーで出張販売に来てくださり、できたてのクレープに皆さん舌鼓を打って美味しそうに食べていました。また、利用者の皆さんのみならず、職員も美味しくいただきました(笑)

イベントではケンハモ「TORA」による鍵盤ハーモニカ演奏が行なわれ、利用者さんがドリンクを飲みながら聴き入っていました。

レクリエーションでは射的と玉入れが行われ、利用者さんとご家族が見事なコンビネーションで楽しまれている様子が印象的でした。同じフロアでは花*花さんと生活介護Bの販売があり、Tシャツや雑貨を買い求める利用者さんで賑わっていました。

来年のあしたの丘まつりも楽しみです。

(職員)



クリスマス会



生活介護Bたより

◆ハロウィンイベント◆

今年はハロウィンの気分を感じられるように、利用者も職員もみんなで仮装をしました。蜂やウサギの着ぐるみで、なかなか見ることの出来ない姿に着替えの途中から「面白い!」「かわいい!」とみんなの笑いが止みませんでした。ボランティアさんも招いてゲームを行い、楽しく過ごすことができました。仮装を行う機会は少ないためとても貴重な一日となりました。

(職員)



◆秋の外出企画◆



今年も利用者さんの希望に沿って、喫茶店、パン屋さん、散歩(農業センター)の小グループで外出を楽しむことができました。

喫茶店では時事系の話から笑い話にも花が咲き、パン屋さんではパン大好き人間が判明しました。また新しくリニューアルした農業センターでは、子牛に加え新しい成牛舎を観ました。そして、鶏のヒナ(ひよこ)舎では、これから殻を割って生まれてくる途中の貴重なシーンも観ることができました。

(職員)